

第69回 筑波学校体育研究会・夏期研修会のご案内

新年度の諸活動等も落ち着き、日常の教育に取り組んでおられることと思います。

さて、文部科学省のホームページで確認するまでもなく、新たな学習指導要領の発布に向けて検討が進められており、来年度はその姿もより鮮明になってくるでしょう。このような状況をふまえつつ、教育現場で問題の1つである「体育科における個別最適な学び」について、昨年同様に指導の具体に触れながら考えてみることにしました。お仲間の先生方をお誘いいただき、是非ご参加いただければと思います。

令和8年5月吉日

筑波学校体育研究会 会長 松本 格之祐

理事 一同

1. テーマ 体育科における個別最適な学びを考える ―指導の具体に触れながら― (2年次)
2. 期間 令和8年8月2日(日)～8月3日(月)
3. 会場 東京都文京区大塚3-29-1 筑波大学附属小学校 (地下鉄・丸の内線「茗荷谷」駅 徒歩5分)
4. 会費 8,000円
5. 申し込み Googleフォーム ※事前申し込みは7月30日(木)までとします。
URL :
必要事項を入力後、確認画面に振込み口座情報を表示いたします。
メールアドレスは正しくご入力ください。なお、@docomo,@i.softbank,@ezwebの携帯電話のキャリアメールは返信メールが届かないことがあります。あらかじめご了承ください。まれに、迷惑メールに入ってしまうこともありますので、そちらも併せてご確認ください。
6. 定員 150名程度
7. 主催 筑波学校体育研究会
8. 日程 講師及び天候等の都合により内容を変更することがあります。

申し込みはこちらから



8:30	9:00	9:30	11:30	13:00	14:20	14:30	16:45頃
8月2日(日)	受付 開会行事 会長挨拶 事務連絡	◇授業研究Ⅰ 9:30～ 水泳 2クラス同時展開 3年生 平川 譲 5年生 眞榮里 耕太 ◇研究協議	昼 休 憩	講演会 子どもとともに創る 体育授業 ー子どもの主体性と教師の指導性を考えるー 東京学芸大学 教授 鈴木 聡先生	休 憩	実技指導 ※60分で交代して2つ選択して受講 ◇表現運動 京都市立大原小中学校 藤井 豊康 ◇ボール(ゴール型) 木下 光正 ◇水泳 山崎 和人	
8月3日(月)	◇授業研究Ⅱ 9:00～ 3年生 齋藤 直人 ◇研究協議	古屋賞 発表	昼 休 憩	実技指導・相談室 ※いずれか選択 ◇いつでも使える レクダンス 日本フォークダンス連盟 鯉谷 美代 ◇相談室 山本 悟 眞榮里耕太	休 憩	実技指導 ※60分で交代して2つ選択して受講 ◇鉄棒運動 松本格之祐 ◇ボール(ターゲット型) 清水 由 ◇体づくり 夏苺 崇嗣	

※下記ホームページでも掲載しています(ファイル変換の都合で日程表の時刻がずれる場合があります)。

<http://www.catv296.ne.jp/~tsukuba-taiiku/>

※実技のできる服装{スポーツウエア・運動靴(外履き・室内履き)}をご用意ください。

※1日目の実技 水泳 は水着、水泳キャップ、ゴーグル、タオル等をご用意ください。

※水分の提供は限りがありますので、必要な場合は各自ご用意下さい。

※問い合わせ先 筑波大学附属小学校・体育準備室 TEL&Fax 03(3946)1948(直通)

*ご参加の受付確認は入金の完了が確認できた段階となります。

*傷害保険に加入いたします。

9. お支払いについて

銀行振込

振込先情報は、Google フォーム入力後に表示されます。

・払い込み手数料は参加者でご負担下さい。なお、キャンセル時の返金はいたしません。

※7月31日(金)以降は、TEL 03(3946)1948 までご連絡下さい。

※問い合わせ先 筑波大学附属小学校・体育準備室 TEL&Fax 03(3946)1948(直通)

*傷害保険に加入いたします。

10. 古屋賞投稿規定

「古屋賞」寄稿規定

- 1 本賞に寄稿できるのは、筑波学校体育研究会会員に限る。会員は、本年度を含む3年以内の夏期研修会参加者とする。ただし、寄稿論文の研究者が複数の場合には、その中の一人が会員であればよい。
- 2 寄稿論文は未発表のものに限る。寄稿内容は、原則として教科体育及び学校体育(体育的行事、教科外体育など)に関する実践研究とし、研究目的・研究方法・研究結果・結論とその根拠等を明確にし、研究の性格によっては追試が可能なように文章を作成する。
- 3 提出原稿は、図表や写真のコピーを含めてA4版用紙6頁以内とする。
- 4 原稿の文章は、パソコンにより作成し、図や表はそのまま印刷できるように作成し、各図表にはタイトルを付ける。
- 5 「古屋賞」受賞論文には、表彰状と些少の研究奨励金を授与する。なお、その論文は夏期研修会参加者に印刷して配布する。また、選外で顕著な努力が認められた論文に金一封を授与する。

「古屋賞」について

長く理事長を務められ、本会の中心的役割を担ってこられた古屋三郎先生が平成12年6月にご逝去されました。長年の先生のご功績に対し、「古屋賞」を設けております。

具体的には、参会される先生方から実践研究論文を募り、理事会で特に優れていると評価した論文について、些少ですが研究助成金を提供しようというものです。また、「古屋賞」受賞論文については、参加者に配布することとします。応募規定は上記の通りです。

◆投稿の方法

論文データを7月27日(月)までに下記へお送りください。

kakikenssyuukai@gmail.com